



ベトナムの対米安全保障協力

米国による対越武器禁輸措置撤廃の意味

日本安全保障貿易学会

2016年9月24日（土）

庄司智孝
防衛研究所

発表の構成

- 1 米越安全保障協力の歴史的経緯
- 2 米越安保協力の近年のめざましい進展
- 3 武器禁輸措置の撤廃
- 4 ベトナムにとっての意味
- 5 課題と展望

米越安全保障協力の歴史的経緯

- 国交樹立（1995年）後の極めて漸進的な進展
- ベトナムの懸念——「和平演変」、人権問題
- ベトナム戦争の遺産——枯葉剤、MIA問題
- ベトナムの対中配慮

米越安保協力の近年のめざましい発展

- 戦略利益の収れん——南シナ海
- 防衛協力の推進に関する覚書（2011年9月）
- チョン書記長訪米と米越協力の新たな段階
- オバマ大統領訪越と対越武器禁輸措置完全撤廃



武器禁輸措置の撤廃

- 1975年ベトナム戦争後（ベトナム統一後）禁輸措置開始
- 2014年10月、殺傷兵器を含む禁輸一部解除
- 2016年5月、オバマ大統領訪越時に禁輸措置完全撤廃を宣言



ベトナムにとっての意味

- 「ベトナム戦争に起因する歴史問題の全面的解決」
- 「和平演変」の懸念の解消
- 南シナ海問題への対処に向けた海上防衛能力向上への期待



課題と展望

- ベトナムでの議論：調達先の多様化、ISR能力の向上
- ロシア製装備との相互運用性、対口関係の維持
- ヴィン国防次官インタビュー（2016年6月）「まだ何も決まっていない」「信頼醸成、しかし軍事的意味も」

